

平成二十七年 小学生・中学生 春の俳句大会

平成27年4月11日から5月6日まで開催した「小学生・中学生 春の俳句大会」は、投句数にして507句のご応募をいただきました。たくさんの方々のご参加、誠にありがとうございました。

審査会を行った結果、最優秀作品 小学生の部二句、中学生の部二句、入選作品 小学生の部五句、中学生の部五句を次のとおりに決定いたしました。

(賞・部門ごとに学年順・五十音順)

◆審査会委員 (五十音順)

井澤 昭雄 (四日市中日文化センター講師、ともしび詩舎同人)

野村 弘和 (公益財団法人徳川黎明会 徳川美術館 管理部 マネージャー)

桐原 千文 (名古屋市蓬左文庫 文庫長)

岩田 正雄 (公益財団法人名古屋市みどりの協会・岩間造園グループ 徳川園事務所 所長)

《最優秀作品・小学生の部》

名古屋市立 矢田小学校 (東区) 二年 林 はやし 柚羽 ゆずは さん

たんぽぽは おとなになると たびにでる

遠い昔、鮮やかな黄色い花を咲かせたたんぽぽが春の訪れを知らせ、
たんぽぽの茎で草笛を吹いたことや、花を見た後にはまん丸い綿毛の
胞子を息で吹き飛ばしたことを思い出しました。

作者には胞子と自分の夢とあわせ、穏やかな春の風にどこまでもどこまでも遠くに運ばれていく姿を夢ふくらんで見ていたのではないかと思います。

【審査員 岩田 正雄】

《最優秀作品・小学生の部》

名古屋市立 砂田橋小学校（東区） 三年 古川 さらさん
ふるかわ

おとうとが 入学したから つかれるよ

めんどくさそうな雰囲気（ふんいき）がただよう言い回しとは逆に（ぎやく）弟（おとうと）が「入学したから」「面倒（めんどう）見なくちゃ」という「姉（あね）」としての決意（けつい）が伝わ（つた）ってきます。きっとこの作者（さくしや）は弟（おとうと）の入学（にゅうがく）をまちのぞんでいたにちがいありません。

弟（おとうと）は一年生（いちねんせい）、作者（さくしや）は三年生（さんねんせい）、上級生（じょうきゅうせい）の仲間（なかま）入りです。待ちわびていた弟（おとうと）の入学（にゅうがく）と心待ち（こころまち）にしていた進級（しんきゅう）春（はる）を迎（むか）えて成長（せいちょう）していく姿（すがた）がまぶしく感じ（かんじ）られる一句（いっく）です。

【審査員 桐原 千文】

《最優秀作品・中学生の部》

東海学園 東海中学校（東区） 一年 滝川 知輝さん
たきかわ ともき

本物は 祖母がつくった よもぎもち

蓬（よもぎ）の葉（は）を茹（ゆ）でて搗（つ）き込んだ餅（もち）は、独特（どくとく）の香（か）りとすがすがしい緑（みどり）が鮮（あざ）やか、思（おも）わず手（て）にとって食（た）べたくなる。

それが祖母（そば）の手作（てづく）りとくれば、尚（なお）更（さら）だ。おばあちゃん（おばあちゃん）は孫（まご）の喜（よろこ）ぶ顔（かお）を思（おも）い浮か（う）べながら、作（つく）ってくれたにちがいない。なつかしい家庭（かてい）のひとときが瞼（まぶた）に浮（う）かびます。

蓬（よもぎ）は土手（どて）や草原（そうげん）にもどんどん繁殖（はんしょく）する強い生命（せいめい）力（りき）から、色（いろ）々な効能（こうのう）が伝（つた）えられてきたが、日本（にほん）の食文化（しょくぶんか）の一つ（ひと）が家庭（かてい）の中で受け継（つ）がれてゆくのは真（まこと）に喜（よろこ）ばしいことです。

【審査員 井澤 昭雄】

《最優秀作品・中学生の部》

名古屋市立桜丘中学校（東区）三年 伊藤 いとう かこさん

帰宅する 父の肩にも つく桜

お父様はお勤めの帰りだったのでしょうか。それとも仲間なかまとお花はな見を楽しんでこられたのでしょうか。

「ただいま」「おかえり」

いつもの挨拶で迎えたお父様のスーツの肩にそっとつけた一片のピンクの花びらが非日常の風景を運んでくれました。
作者のお父様への愛情が感じられる作品です。

【審査員 野村弘和】

《入選作品・小学生の部》

名古屋市立矢田小学校（東区）一年 岩本 いわもと 真穂 まほ さん

たんぽぽが さくらといっしょに おさんぽだ

名古屋市立山吹小学校（東区）二年 吉野 よしの 麻穂 まほ さん

学校で そだてたいちご 赤くなれ

《入選作品・小学生の部》

名古屋市立葵小学校（東区）三年

吉次よしつぐ

なほのさん

たんぽぽは 地面の太よう 春が来た

名古屋市立東白壁小学校（東区）四年

瀧谷たきや

春太しゅんたさん

牡丹さく 花嫁衣装 五月晴れ

名古屋市立東桜小学校（東区）五年

草地くさち

結希ゆきさん

新学期 わたしの声が ひびいてる

《入選作品・中学生の部》

東海学園 東海中学校（東区）一年

岡本おかもと

将季まさき

さん

幼子の 握る手の中 花の種

《入選作品・中学生の部》

東海学園 東海中学校（東区）一年

小林 勇心こばやし ゆうしんさん

花の雨 よけつつ進む 通学路

東海学園 東海中学校（東区）一年

竹林 洸生たけばやし こうきさん

桜見て いもうと笑う みな笑う

東海学園 東海中学校（東区）一年

中野 燎人なかの りょうとさん

花見行き 父が一番 いい笑顔

金城学院中学校（東区）二年

中村 桃子なかむら ももこさん

せせらぎに 耳かたおける 射干の花